

令和元年度第2回学校関係者評価委員会のまとめ

1 開催日

令和2年2月14日（金）午後3時00分～午後4時00分

2 場所

熱田高等学校応接室

3 出席者（敬称略）（2名欠席）

評議員

名古屋学院大学(学長代理) 柳 善和  
千年自治会 小出 邦雄  
熱田高等学校PTA顧問 大平 美奈

学校関係者

熱田高等学校PTA会長 二宮奈津子  
熱田高等学校PTA副会長 赤木 陽代  
熱田高等学校PTA副会長 岩下 高久  
熱田高等学校PTA監査 伊藤奈都子

教職員

校長 三好博輝 教頭 鈴木達也 教頭 清水貴子  
定時制教頭 渡辺喜長 事務長 森 清司

4 当日の主な内容

本校の今年度の学校評価や学習アンケートの結果、PTA学校懇談会の内容等について報告させていただきました。また、本年度、県の教育課題研究に係る研究指定を受けて学校全体で取り組んだ「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の成果について報告させていただきました。

定時制からは、落ち着いた学習環境をつくるための「生徒個人記録」の活用等の新たな取組について説明させていただきました。また、保護者、生徒を対象に実施した学校評価アンケートからの現状分析も報告させていただきました。

その後、評議員とPTA役員の皆様よりご意見をいただき、今後の学校運営についてご示唆いただきました。

## 5 評議員および学校関係者の御意見から

(学校関係者)

○PTAでの関わりを通して、先生方に様々な問題解決のために尽力していただいていることを知り、感謝している。授業数確保のための取組や、身だしなみ指導、授業改善のための研究等、今後も引き続きよろしく願いしたい。

○見知らぬ人とのSNSを介した助言に頼るなど、親として心配なことも起こっている。

→本校では、今年度一年生から、スマホを放課に使用しない指導を始めている。

○以前より、生徒はよく挨拶してくれるようになった。

(評議員)

○大学生も簡単にローンが組めたり、投資をしたりする時代になっている。高校での消費者教育の必要性を感じる。具体的な事例等を用いて指導してほしい。

○最近、大学に入学して、自分の持つイメージとのギャップにより、メンタル面で病んでしまう生徒が多い。特に、実習等でドロップアウトするケースが増えている。

○近隣の大型スーパーの買い物客がくつろぐスペースを熱田高生が占拠しており、大変迷惑している。いつも苦々しい気持ちで見ている。ルール・マナーをしっかり指導してもらいたい。

○学校敷地の横で、一部歩道が陥没しかかっている場所があり、危険である。

○熱田高校は、過去に伊勢湾台風で甚大な被害を受けており、災害時には大勢の地域住民が避難して来ることが予想される。防災の取組は喫緊の課題である。全校生徒で高台の熱田神宮に逃げる避難訓練を実施しているが、避難経路となっている大瀬古橋は崩れる可能性が高く危険。国道1号線の白鳥橋は頑丈なので、そちらを経由する方がよい。

## 6 校長より

○学校・家庭・地域の連携の強化がますます求められている。今後も本校のために忌憚のないご意見をいただきたい。

○今日いただいたご意見を参考に、ルール・マナーの指導を徹底したい。

○町内会長の助言を参考に、今後、危険箇所の確認や防災訓練の内容の見直し等を進めていきたい。